



交通局

【平成30年度 予算要求の経営方針】

交通局は、「第2次北九州市営バス事業経営計画」に基づき、様々な取り組みを着実に実行し、安全・安心な運行の確保と利用者サービスの向上に努めるとともに、今後とも健全経営を維持しつつ、公営バス事業者として、市民の生活を支える足としての重要な役割を果たしていきます。

交通事業会計要求総額 2,216百万円
(対前年度 +0.4%)

収益的収入		2,063百万円
収益的支出		2,041百万円
差引		22百万円
単年度資金収支		34百万円



【要求の基本的な考え方】

●安全・安心な運行の確保

交通事業者の最優先の使命である安全な運行を確保した上で、輸送力、効率性、利便性を確保した快適かつ安心して利用できるサービスを提供します。

- ・バス車両の更新 等

●地域社会への貢献

公営バス事業者として、不採算路線の維持に努め、住民の生活の足を守るとともに、子どもや高齢者、障害者などの交通弱者の支援など、地域社会に貢献します。

●収入の確保

乗合バス事業では、地域と密着した利用促進や利便性の向上などに取組み、収入の確保を図ります。附帯事業では、貸切バスの稼働率を高めるため運転者の確保に努めるとともに、営業を強化し、収入の確保を図ります。

- ・バス利用促進の取り組み（新たな運賃割引制度の活用など）
- ・互換性のあるICカードの導入準備 等

●路線の再編

宅地開発等の状況に応じ、路線の新設や増便等を行うとともに、複雑で経済的にも非効率となっている既存路線を、地域住民の要望を踏まえ経済性も考慮しながら、利用しやすく、分かりやすい路線に再編していきます。

●人材の確保

運転者不足に対応するため、バス運転者を継続的に確保する取り組みを強化するとともに、将来の運行管理部門を担う人材の確保、育成を行います。

●業務の改善

絶え間なく業務改善への取り組みを進め、更なるコスト削減を図ります。

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。